

高等学校 令和7年度 教科

水産

教科：水産

科目：上級航海英語

単位数：2

対象学年組：第 2 学年 B 組～ 組

教科担当者：（ 組： 清水 ）（ 組：横戸 ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ 英語講習用教本一航海科一

教科 水産

の目標：

【知識及び技能】海事通信に関する基礎的な知識を理解し、海上通信に活用できる。

【思考力、判断力、表現力等】海事通信に関する基礎的な知識を理解し、海上通信に活用できる。況に適した表現をすることができ、発表などの課題や積極的に表

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な人間性を育み、よりよい社会の構築を目指し、的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 上級航海英語

の目標：

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】
海事通信に関する基礎的な知識を理解し、海上通信に活用できる知識を身に付け海上通信に関する技術を習得する。	海事通信に関する基礎的な知識を理解し、海上通信に活用できる知識を身に付け、海上通信に関する技術を習得し、状況に適した表現をすることができ、発表などの課題を積極的に表現する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価
1 学期	1 標準海事通信用語の概要 【知識及び技術】 標準海事通信用語の基本的な内容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 標準海事通信用語に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 標準海事通信用語について自ら学び、安全な航海を目指して主体的かつ協働的に取り組む。	標準海事通信用語の概要 用語解説 ・海事通信に必要な印字凡例、手順、綴り、 メッセージマーカ、応答方法 ・遭難信号、緊急信号及び安全信号 ・交信開始段階の標準用語 ・一般海事用語 ・V T S（船舶交通サービス）の特殊用語	1 標準海事通信用語 【知識及び技術】 標準海事通信用語の理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 標準海事通信用語に合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 標準海事通信用語に航海を目指して主体的かつ協働的に取り組むことができる。
	定期考査		
2 学期	1 標準海事通信用語の概要 【知識及び技術】 標準海事通信用語の基本的な内容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 標準海事通信用語に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 標準海事通信用語について自ら学び、安全な航海を目指して主体的かつ協働的に取り組む。	対外通信用語 ・遭難発信 ・非常時の交信 ・安全通信 ・水先業務 ・特殊事項 ・V T S（船舶交通サービス）の標準用語 ・G M D S S の標準メッセージ	1 標準海事通信用語 【知識及び技術】 標準海事通信用語の理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 標準海事通信用語に合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 標準海事通信用語に航海を目指して主体的かつ協働的に取り組むことができる。
	1 標準海事通信用語の概要 【知識及び技術】 標準海事通信用語の基本的な内容について理解する。	船内コミュニケーション用語 ・操舵号令 ・機関号令 ・水先人の在橋	1 標準海事通信用語 【知識及び技術】 標準海事通信用語の理解できる。

	【思考力、判断力、表現力等】 標準海事通信用語に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 標準海事通信用語について自ら学び、安全な航海を目指して主体的かつ協働的に取り組む。	船舶運航用務 ・当直の引継ぎ ・トリム、傾斜及び復原性 船舶安全性の保持 ・一般措置 ・安全作業の確保 ・防火及び消火 ・損傷措置 ・乗揚げ ・捜索・救助の船舶用務	【思考力、判断力、表現力等】 標準海事通信用語に合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 標準海事通信用語に安全な航海を目指して主体的かつ協働的に取り組むことができる。
	定期考査		
3 学 期	1 標準海事通信用語の概要 【知識及び技術】 標準海事通信用語の基本的な内容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 標準海事通信用語に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 標準海事通信用語について自ら学び、安全な航海を目指して主体的かつ協働的に取り組む。	旅客管理 ・伝達及び指示 ・退船及び総端艇部署操練 ・非常時の旅客対応 英文解釈 ・水路通報、水路誌、気象、油濁防止、 - 航行安全指導、M E R S E R , S O L A S	1 標準海事通信用語 【知識及び技術】 標準海事通信用語の理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 標準海事通信用語に合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 標準海事通信用語に安全な航海を目指して主体的かつ協働的に取り組むことができる。
	定期考査		

科目 上級航海英語

単位

（ 組： ） （ 組： ）
 ）

知識を身に付け海上通信に関する技術を習得する。

知識を身に付け海上通信に関する技術を習得し、状
 現できる。

て自ら学び、海洋関連産業の振興や社会貢献に主体

	【学びに向かう力、人間性等】
上 に る で	職業人として必要な人間性を育み、よりよい社 会の構築を目指して自ら学び、海洋関連産業の 振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む 態度を養う。

評価規準	知	思	態	配当 時数
第1講の概要				
第1講の基本的な内容について				
【学習到達目標等】 第1講の課題を発見し、 解決できる。 【人間性等】 第1講について自ら学び、安全 かつ協働的に取り組	○	○	○	16
	○	○		2
第2講の概要				
第2講の基本的な内容について				
【学習到達目標等】 第2講の課題を発見し、 解決できる。 【人間性等】 第2講について自ら学び、安全 かつ協働的に取り組	○	○	○	16
第3講の概要				
第3講の基本的な内容について				

【現力等】 に関する課題を発見し、 解決できる。 【間性等】 について自ら学び、安全 的かつ協働的に取り組	○	○	○	16
	○	○		2
書の概要 基本的な内容について 【現力等】 に関する課題を発見し、 解決できる。 【間性等】 について自ら学び、安全 的かつ協働的に取り組	○	○	○	17
	○	○		1
				合計
				70